



鍼灸マッサージ情報誌

東洋療法

2026
5.1発行

372

公益社団法人 全日本鍼灸マッサージ師会



鍼灸マッサージを 考える国会議員 の会総会

開催



議連 新会長に 加藤勝信 議員が 就任

令和8年3月12日、参議院議員会館1階講堂において、「鍼灸マッサージを考える国会議員の会総会」が開催されました。本総会には、関係国会議員をはじめ、あはき業界の主要団体代表者が出席し、業界の現状と今後の制度の在り方について活発な議論が行われました。

全日本鍼灸マッサージ師会からは、理事15名が出席し、冒頭、長嶺芳文 会長が挨拶に立たれ、日頃の施術現場に基づく課題や要望について述べられました。とりわけ、超高齢社会が進展する中で、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師が担う役割はますます重要性を増しており、在宅医療や介護の分野において地域住民の生活を支える存在としての期待が高まっている現状を共有しました。

総会では、療養費制度の適正運用と見直しについて意見交換が行われ、現場の実態を踏まえた制度改善の必要性が確認されました。また、施術者の資質向上や人材育成、さらには国民に対するあはき業の正しい理解の普及についても議論が交わされ、安全で信頼される施術環境の整備が重要であるとの認識も共有出来ました。

なお、本総会において、加藤勝信 衆議院議員が新たに議連会長に就任されました。新体制のもと、業界が抱える諸課題の解決と制度のさらなる充実に向け、力強いリーダーシップを発揮されることが期待されます。

本会としても、今回の総会で示された方向性を踏まえ、関係団体および行政との連携を一層強化しながら、あはき業の発展と国民の健康増進に寄与してまいります。引き続き、会員一人ひとりが専門職としての誇りと責任を持ち、社会から信頼される存在としての地位向上に努めますので、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。
(理事 中川紀寛)